
日露対話

複雑化する北東アジア情勢と 日露協力の可能性

会議資料

2018年12月4日

東京、日本

主催

グローバル・フォーラム(GFJ)

共催

公益財団法人 日本国際フォーラム(JFIR)

ロシア科学アカデミー (RAS) 極東支部 (FEB)

Rules of Proceedings

Keynote Speech: 10 minutes

Lead Comment: 5 minutes

Allocated time is 10 minutes for the keynote speech and 5 minutes for the lead comment.

One of the staff members will ring a bell to let you know the remaining time.

- The first bell-----1 minute to go
- The second bell-----End of your presentation

Comments in Free Discussions: 2 minutes

Allocated time for a comment is 2 minutes.

One of the staff members will ring a bell to let you know the remaining time.

- The first bell-----1 minute to go
- The second bell-----The end of your comment

Thank you for your cooperation.

目 次

1. プログラム	2
2. パネリストの横顔	3
3. 共催機関の紹介	6

1. プログラム

2018年12月4日（火）
国際文化会館「講堂」

オープニング・セッション	
13:00-13:30	
開会挨拶（10分間）	伊藤 憲一 GFJ代表世話人/JFIR会長
開会挨拶（10分間）	ヴァレンティン・セルギエンコ ロシア科学アカデミー副総裁兼極東支部会長
セッション1	
13:30-14:50 「北東アジア情勢をどうみるか」	
議長（5分）	森本 敏 JFIR理事・上席研究員/拓殖大学総長/元防衛大臣
基調報告A（10分）	ヴィクトル・ラーリン ロシア科学アカデミー極東支部副会長
基調報告B（10分）	細谷 雄一 慶應義塾大学教授
リード・コメントA（5分間）	兵頭 慎治 防衛研究所地域研究部長
リード・コメントB（5分間）	セルゲイ・ベスツォフ ロシア科学アカデミー極東支部アジア太平洋研究センター主任研究員
リード・コメントC（5分間）	佐橋 亮 GFJ有識者メンバー/神奈川大学教授
自由討論（40分）	出席者全員
14:50-15:00 休憩	
セッション2	
15:00-16:25 「日露協力の可能性」	
議長（5分）	ヴィクトル・ゴルチャコフ 元ロシア沿海地方立法議会議長/元極東国立大学学長
基調報告A（10分）	袴田 茂樹 JFIR評議員・上席研究員/新潟県立大学教授
基調報告B（10分）	ピョートル・バクラノフ ロシア科学アカデミー極東支部太平洋地理学研究所長
リード・コメントA（5分間）	宮家 邦彦 JFIRメンバー/外交政策研究所代表
リード・コメントB（5分間）	ヴァレンティン・セルギエンコ ロシア科学アカデミー副総裁兼極東支部会長
リード・コメントC（5分間）	廣瀬 陽子 GFJ有識者メンバー/慶應義塾大学教授
自由討論（40分）	出席者全員
閉幕セッション	
16:25-16:30	
閉幕挨拶（5分間）	渡辺 蘭 GFJ執行世話人/JFIR副理事長

[NOTE] 日本語・ロシア語同時通訳付き

2. パネリストの横顔

【ロシア側パネリスト】

ヴァレンティン・セルギエンコ (Valentin SERGIENKO) ロシア科学アカデミー副総裁兼極東支部会長

1944年、沿海地方に生まれる。1966年、極東国立大学物理・数学学部を卒業。1965年からソヴィエト連邦科学アカデミーシベリア支部極東支所化学部、同化学研究所（現ロシア科学アカデミー極東支部）にて勤務している。2002年～2017年、同研究所所長。太平洋科学協会全国委員会委員長、アジア科学アカデミー・科学協会連合理事、『Vestnik DVO RAN』誌編集長などを歴任。ロシア政府より科学技術分野で表彰を受けており、多くの教え子が科学博士・候補となっている。

ヴィクトル・ラーリン (Viktor LARIN) ロシア科学アカデミー極東支部副会長

1952年、ウラジオストクに生まれる。1974年、極東国立大学地域研究学部を卒業。同年、同学講師となり、1986年から1991年まで東洋学部長を務めた。1991年～2017年、ロシア科学アカデミー極東支部歴史・考古学・民俗学研究所所長、2001年～現在まで極東国立大学（2011年に極東連邦大学に改組）教授を務めている。中ロ関係への特筆すべき貢献により中国政府から受勲、日ロ関係発展への貢献により日本外務省から感謝状を受けている。

セルゲイ・ペスツォフ (Sergei PESTSOV) ロシア科学アカデミー極東支部歴史・考古学・民俗学研究所アジア太平洋研究センター国際関係・安全保障学科主任研究員

1954年、オムスク地方に生まれる。1981年、オムスク国立大学で歴史学を修め、卒業した。1987年～1995年、極東国立大学政治科学学部上級講師。1996年～2008年、海洋大学歴史政治学科助教授・教授を務める。その後、2011年まで極東国立技術大学太平洋政治・法律研究所政治科学学部長、2011年～2018年、極東連邦大学教授、2016年から現職。

ヴィクトル・ゴルチャコフ (Viktor GORCHAKOV) 元ロシア沿海地方立法議会議長

1940年、沿海地方に生まれる。1962年、極東連邦大学物理学部卒業。以来、モスクワ、ノヴォシビルスク、東京の大学やニールス・ボーア研究所といった各研究機関で原子物理学の研究に従事してきた。1976年～1988年、極東連邦大学学長。2002年～2006年、沿海地方副知事。2006年～2016年、沿海地方議会議長を歴任した。2011年に、長年の日ロ関係強化への貢献が認められ、旭日大綬章を受章。

ピョートル・バクラノフ (Peter Ya. BAKLANOV) ロシア科学アカデミー極東支部太平洋地理学研究所長

1946年、バシキールで生まれる。1972年、モスクワ大学地理学部および経済学部を優等な成績で卒業。1973年、ロシア科学アカデミーに入局し、1987年まで同極東支部太平洋地理学研究所副所長兼研究室長を務めた。その後、同極東支部ハバロフスク支所にて経済研究所所長、1991年～2016年、地理学太平洋研究所所長を歴任した。ロシア科学アカデミー正会員、極東連邦大学自然科学学部長、ロシア地理学会副会長などを務めている。

(プログラム登場順)

【日本側パネリスト】

伊藤 憲一 (ITO Kenichi) JFIR 代表理事・会長・理事長代行／GFJ 代表世話人

1960年一橋大学法学部卒業後、外務省入省。ハーバード大学大学院留学。在ソ、在比、在米各大使館書記官、アジア局南東アジア一課長等を歴任し、1977年退官。米戦略国際問題研究所東京代表を経て1987年JFIR創設。青山学院大学名誉教授、東アジア共同体評議会会長兼任。2011年カンボジア大学名誉博士。

森本 敏 (MORIMOTO Satoshi) JFIR 理事／拓殖大学総長／元防衛大臣

1965年防衛大学校卒業後、防衛庁を経て外務省入省。在米日本国大使館一等書記官、情報調査局安全保障政策室長等を歴任し一貫して安全保障の実務を担当。2000年より拓殖大学に所属し、現在、同大学総長。2012年に民間人初の防衛大臣を歴任。

細谷 雄一 (HOSOYA Yuichi) 慶應義塾大学教授

1994年立教大学卒業後、1996年英国バーミンガム大学大学院に修士号、1997年慶應義塾大学大学院修士号、2000年同大学大学院博士号（法学）。その後、同大学助教授（2006年）、プリンストン大学客員研究員（2008-09年）、パリ政治学院客員教授（2009-10年）等を経て、2011年より現職。

兵頭 慎治 (HYODO Shinji) 防衛研究所地域研究部長

1994年上智大学大学院博士前期課程修了後、外務省在ロシア日本大使館専門調査員、英国王立統国防安全保障問題研究所客員研究員、防衛研究所地域研究部米欧ロシア研究室長、内閣官房国家安全保障局顧問等を歴任。

佐橋 亮 (SAHASHI Ryo) 神奈川大学教授

イリノイ大学政治学科留学を経て、国際基督教大学教養学部卒業。東京大学大学院博士課程修了、博士（法学）。スタンフォード大学アジア太平洋研究センター客員准教授、また、ジャーマン・マーシャル・ファンド客員研究員、日本国際交流センター客員研究員等を歴任。

袴田 茂樹 (HAKAMADA Shigeki) JFIR 上席研究員・評議員・運営委員長／新潟県立大学教授

1967年東京大学卒業。1972年モスクワ大学大学院修了。1977年東京大学大学院国際関係論博士課程単位取得退学。プリンストン大学客員研究員、青山学院大学教授、同大学国際政経学部学部長、東京大学大学院客員教授、モスクワ大学客員教授を経て2012年より現職。同年青山学院大学名誉教授。安全保障問題研究会会長。

宮家 邦彦 (MIYAKE Kunihiko)

JFIR メンバー／外交政策研究所代表

1978年東京大学法学部卒業。1978年外務省入省後、外務大臣秘書官、在米国大使館一等書記官、在イラク大使館公使、中東アフリカ局参事官等を歴任し、2005年退官。外交政策研究所代表、総理公邸連絡調整官等を経て、現在キャノングローバル戦略研究所・外交安全保障研究主幹を兼任。

廣瀬 陽子 (HIROSE Yoko)

GFJ 有識者メンバー／慶應義塾大学教授

1995年慶應義塾大学卒業。2001年東京大学大学院法学政治学研究科博士課程単位取得退学、2006年政策メディア博士（慶大）。東京外国語大学准教授、静岡県立大学准教授等を経て、現職。2018年3月までヘルシンキ大学アレクサンテリ研究所客員研究員。現在、国家安全保障局顧問等を兼任。

渡辺 繭 (WATANABE Mayu)

JFIR 副理事長／GFJ 執行世話人

千葉大学卒業後、東京大学大学院教育学研究科修士課程修了。2000年JFIR研究助手、2007年同主任研究員（専門はエピステミック・コミュニティと文化外交）。2011年同常務理事。2018年より現職。東アジア共同体評議会議長を兼任。

(プログラム登場順)

3. 共催機関の紹介

グローバル・フォーラム（GFJ）について

民間、非営利、非党派、独立の立場に立つ政策志向の知的国際交流のための会員制の任意団体である。1982年の創立以来40年近くにわたり、米国、中国、ロシア、ASEAN諸国、インド、豪州、欧州諸国、黒海地域諸国等の世界の国・地域との間で、相互理解の深化と秩序形成への寄与を目的として相手国の研究組織等との共催形式で「対話」と称する政策志向の知的交流を毎年3－4回実施している。日本側からできるだけ多数の参加者を確保するため、原則として開催地は東京としている。現在、伊藤憲一代表世話人、渡辺巖執行世話人、高畑洋平常任世話人・事務局長の他、4名の経済人世話人および10名の経済人メンバー、4名の政治家世話人および10名の政治家メンバー、そして3名の有識者世話人および54名の有識者メンバーによって運営されている。

公益財団法人日本国際フォーラム（JFIR）について

政府から独立した民間・非営利の外交・国際問題に関する非営利・独立の政策志向のシンクタンクとして1987年に設立され、2011年4月に公益財団法人に移行。わが国の対外関係のあり方および国際社会の直面する諸問題の解決策について、広範な国民的立場から、諸外国の声にも耳を傾けつつ、常時継続的に調査、研究、審議、提言することを目的とする。最高意志決定機関である評議員会のもとに、執行機関である理事会、監査機関である監事会、そして諮問機関である顧問会議と参与会議が設置されており、現在、会長は伊藤憲一、副理事長は渡辺巖。(1)政策提言活動、(2)公開討論活動、(3)調査研究活動、(4)国際交流活動、(5)国際枠組活動、(6)情報収集活動、および(7)広報啓発活動の7つの柱からなる活動を行う。

ロシア科学アカデミー（RAS）について

自然科学、人文・社会科学、技術、医療、農業等に関する基礎研究・技術的探求を行うロシア最高の独立的科学研究機関である。ピョートル大帝の構想により1724年に設立された「帝国サンクトペテルブルク科学アカデミー」に端を発する。(1)総会、(2)常任委員会、(3)理事長の三者を執行部とする非営利組織として、18の内部部局、3つの支部（ウラル、シベリア、極東）および15の地域センターを有する。同アカデミー極東支部（FEB）は1932年に当時の「ソ連科学アカデミー」の極東支部として設置された。学際的科学研究組織として、ウラジオストク本部の傘下に沿海、ハバロフスク、アムール、サハリン、カムチャツカ、北東の各地域に科学センターと、自然保護区を有する。同支部所属の研究者数は約2,400人。日本各地の大学との共同研究の実績も多い。

【グローバル・フォーラム連絡先】

住 所：〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂1301

電 話：03-3584-2190 FAX：03-3589-5120

メール：gfj@gfj.or.jp URL：http://www.gfj.jp/j/